

LIXIL 京香 建仁寺垣・細美垣 側柵部材セット 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施工者、使用者様への危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明柵)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

<施工上のご注意>



注意

- 現場で金具を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- ケガ防止のため、キャップ・カバーは必ず取付けてください。

■梱包明細書

【1】 建仁寺垣・細美垣ユニット型 側枠部材セット

名称	略図	員数	
		T-6,T-10	T-8
側枠A(間仕切タイプ、フリーポールタイプ兼用)		1	1
側枠B		1	1
側枠受け金具1		1	1
側枠受け金具2		2	2
側枠受け金具3		2	2
側枠上キャップ		2	2
側枠下カバー R		1	—
側枠下カバー L		1	—
【1-1】 φ4×13バインドドリルネジ		12(※12)	12(※12)
【1-2】 φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		8	8
【1-3】 φ4×12サラタッピンネジ3種 D=6		2	2
【1-4】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		4	—
取付説明書 C212	—	1	1

※側枠の取付けが片面の場合は、12本が予備ネジになります。

1.基本寸法と各部名称

※ () 内はW10の場合です。
 ※図は片面仕様ですが、両面仕様の場合も同様です。
 ※図は切断する前の寸法です。

1-1 間仕切りタイプ

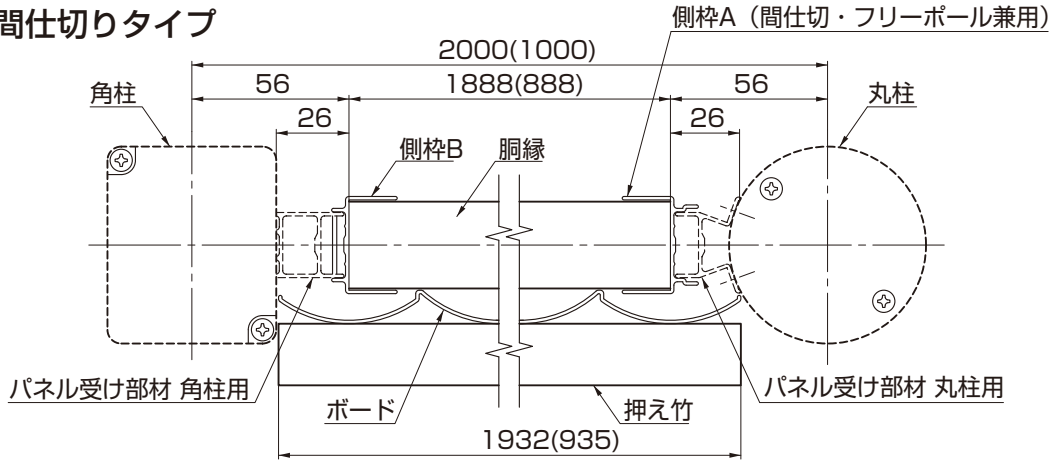


図1-1 T-6,10,14,18

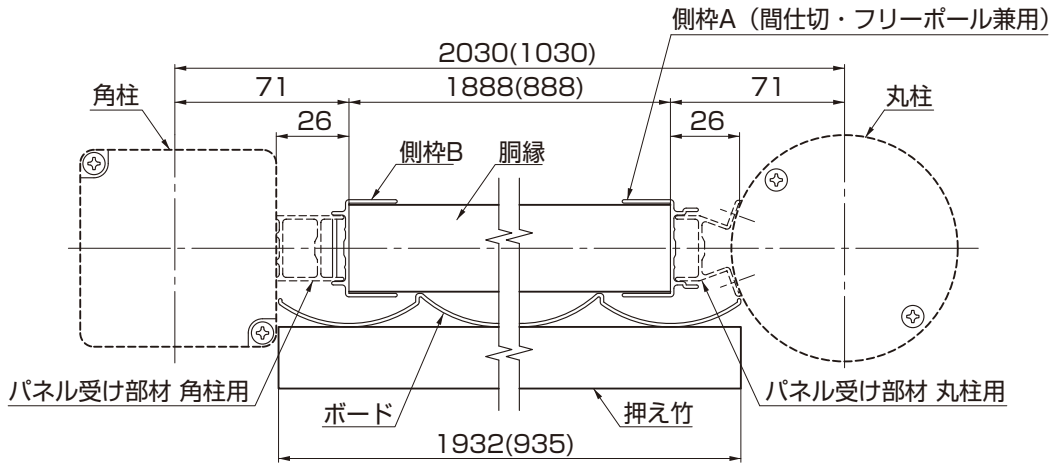


図1-2 T-22,26,30

補足

●間仕切りタイプの場合、側枠A,Bは、左右どちら側でも取付できます。

1-2 フリーポールタイプ

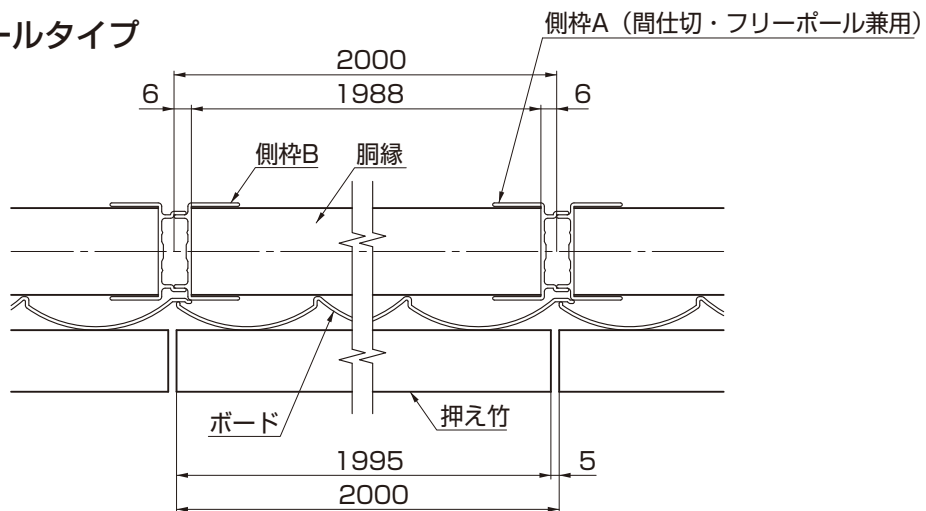


図1-3

補足

●側枠A,Bは、必ず図1-3のように組付けてください。

2.側枠の取付け

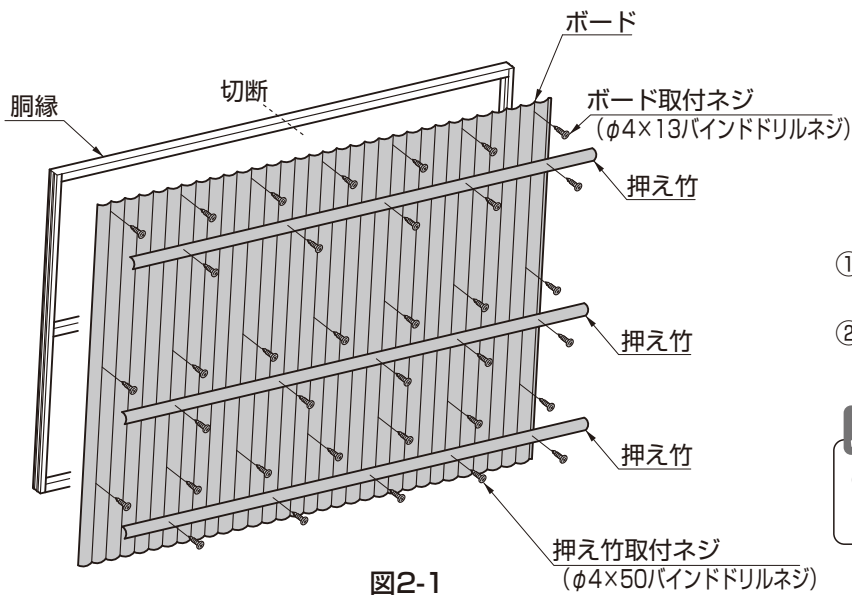
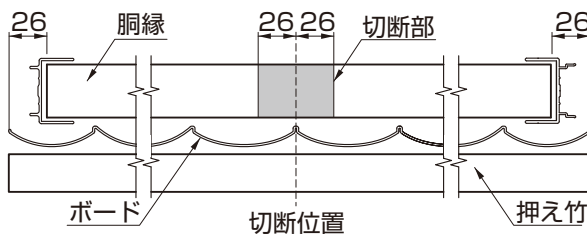


図2-1

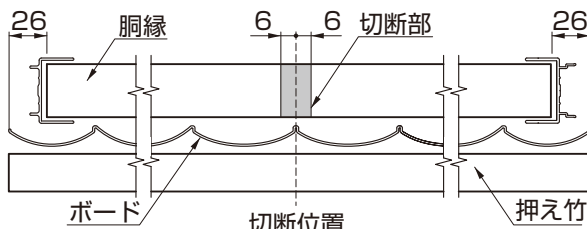
- ①「押え竹取付けネジ」をはずし、押え竹を取りはずしてください。(図2-1参照)
- ②「ボード取付ネジ」をはずし、ボードを取りはずしてください。(図2-1参照)

ポイント

- はずしたネジは再利用するため、捨てないでください。



間仕切りタイプの場合



フリーポールタイプの場合

図2-2

- ③ボード・押え竹をノコギリ、カッターを使い切断してください。(図2-2参照)

注意

- ケガ防止のため、切断面はヤスリ等でバリ取りを行い、鋭利な角部は丸めてください。

- ④胴縁はボード・押え竹切断位置から間仕切りタイプの場合26mm、フリーポールタイプの場合6mm短く切断してください。(図2-2参照)

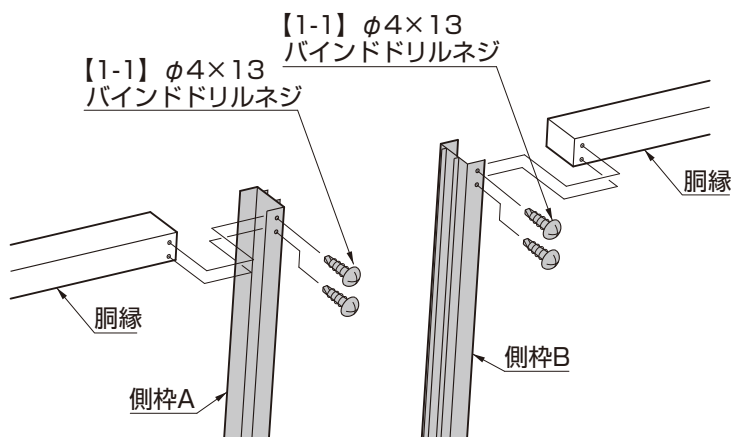


図2-3

- ⑤胴縁の切断した側に、側枠A,Bを【1-1】で取付けてください。(図2-3参照)

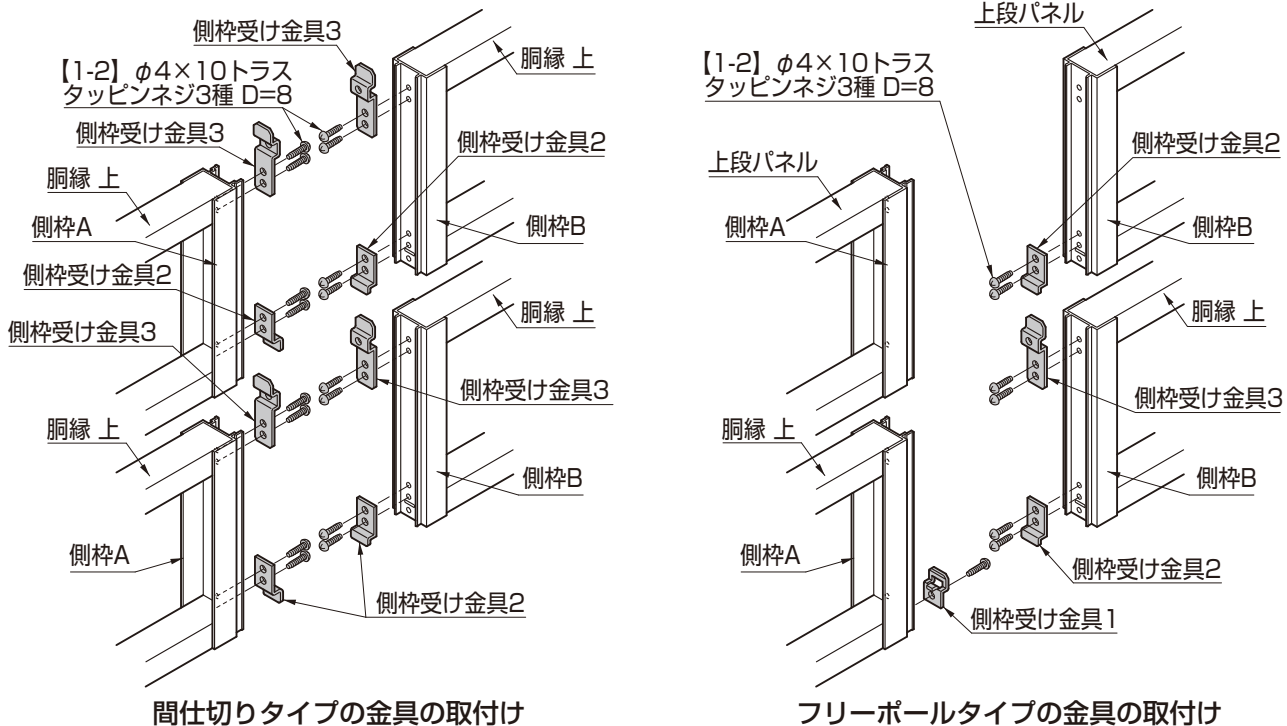
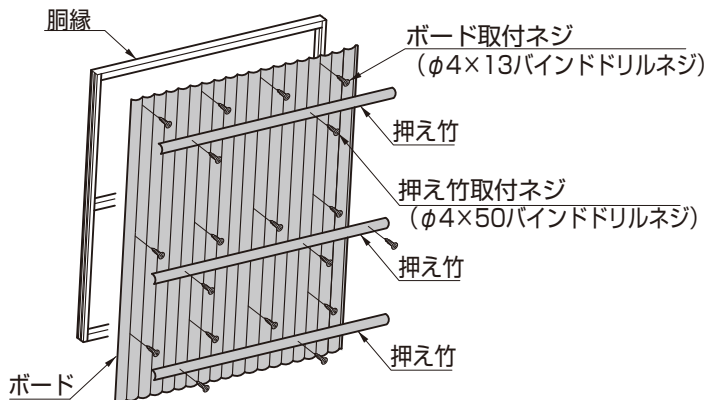


図2-4

⑥側枠受け金具を【1-2】で取付けてください。(図2-4参照)

3.ボード、押え竹の取付け



- ①「ボード取付ネジ」で胴縁にボードを固定してください。
- ②押え竹を「押え竹取付ネジ」でボードの上から胴縁に固定してください。

ポイント

●ボード、押え竹の位置関係は「1.基本寸法」を参照してください。

ポイント

●柱への組付け方法は、取付説明書「京香 建仁寺垣・細美垣 ユニット型間仕切りタイプ (C182)」、「京香 建仁寺垣・細美垣 ユニット型フリーポールタイプ (C180)」を参照してください。

4.側枠上キャップの取付け

※「間仕切りタイプ片面仕様」および「フリーポールタイプ上段パネル (T8)」には、側枠上キャップの取付けはありません。

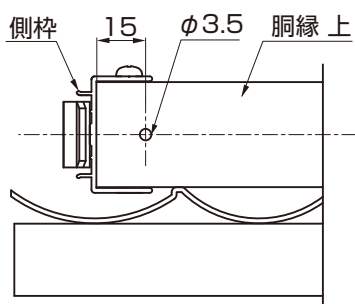


図4-1 A部詳細

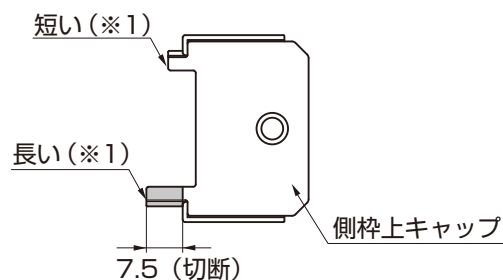


図4-2 フリーポールタイプの場合

① 胴縁上に側枠上キャップ取付け孔φ3.5をあけてください。(図4-1参照)

ポイント

- フリーポールタイプの場合、側枠上キャップの長い方のフィン(※1)をノコギリで切り落としてください。切断面はヤスリ等でバリ取りを行い、鋭利な角部は丸めてください。(図4-2参照)

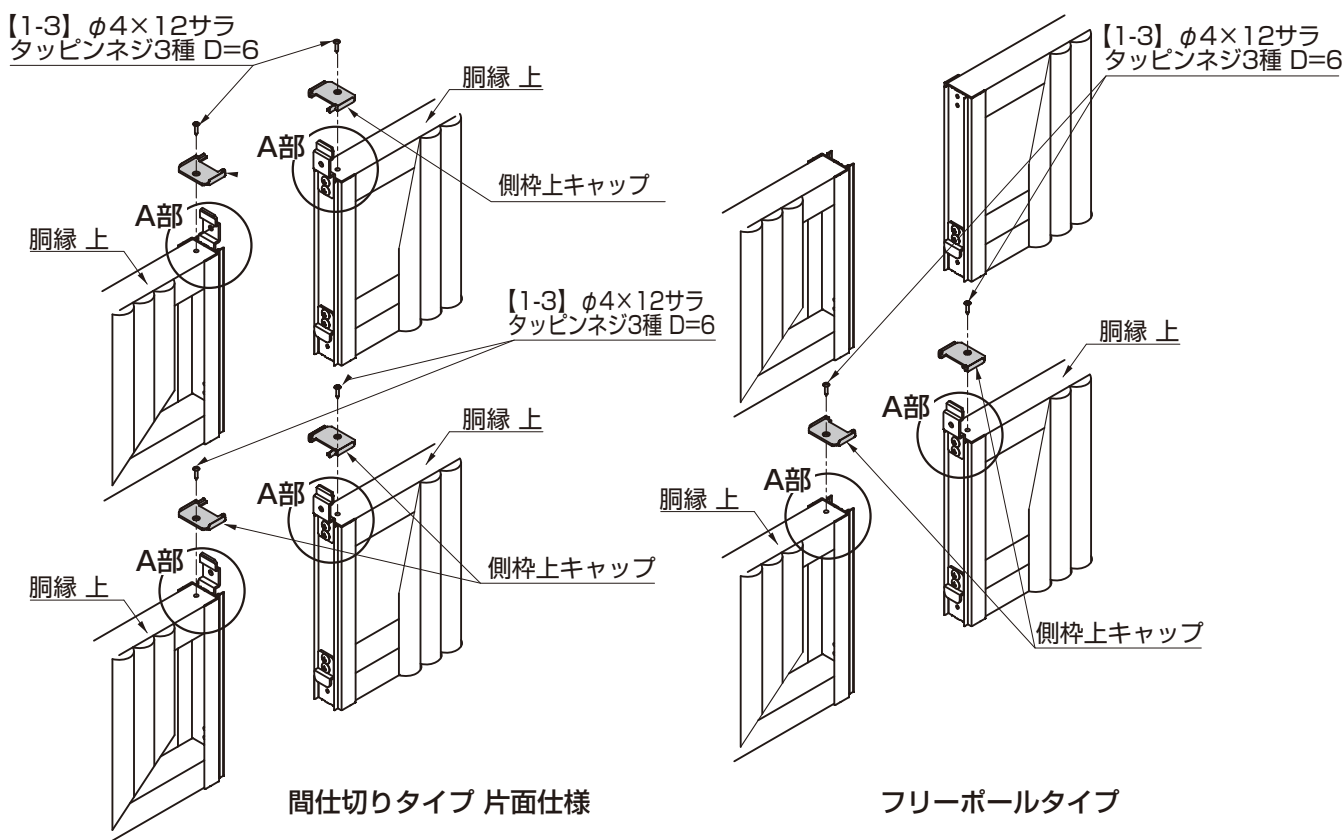


図4-3

- ② 側枠に側枠上キャップをかぶせ、【1-3】で胴縁上に取付けてください。(図4-3参照)
 ③ 分割した本体パネルを柱に組付けてください。

5.側枠下カバーの取付け

※「間仕切りタイプ両面仕様」の場合は、側枠下カバーの取付けは必要ありません。

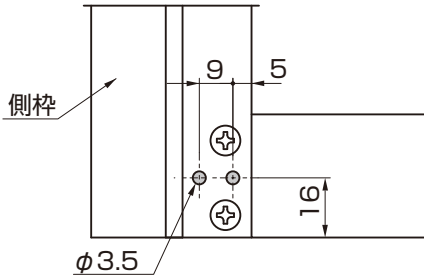


図5-1

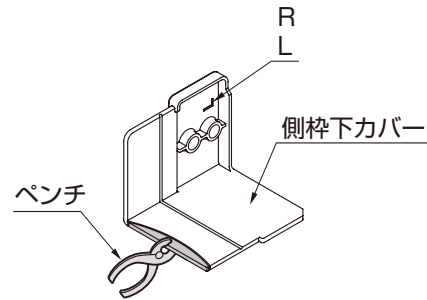


図5-2 丸柱の場合

①最下段パネルの側枠下部に側枠下カバー取付け孔(φ3.5)をであけてください。(図5-1参照)

ポイント

●丸柱の場合は、側枠下カバーのスリット部分をペンチ等で切り取ってください。(図5-2参照)

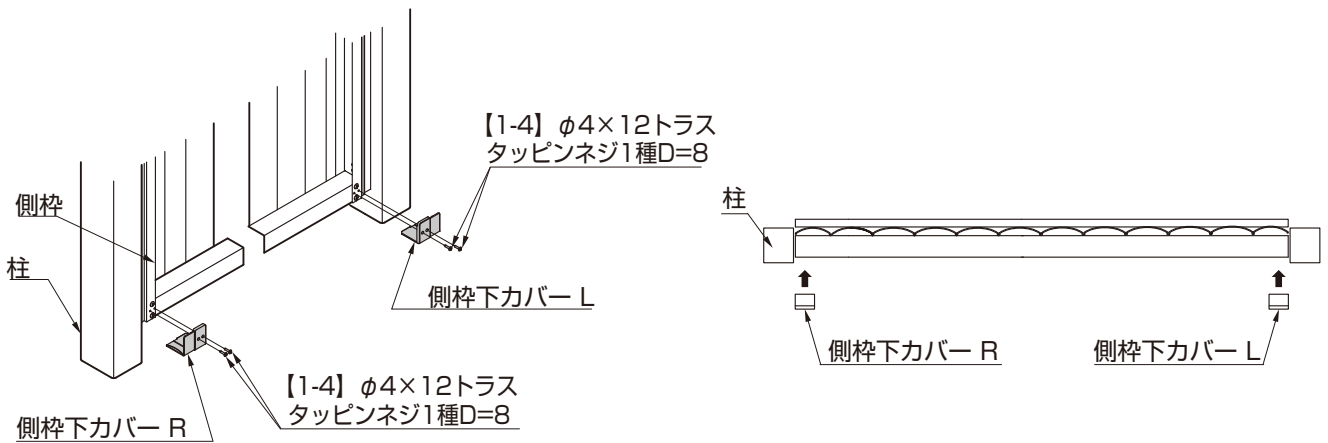


図5-3 間仕切りタイプ (片面仕様) の場合

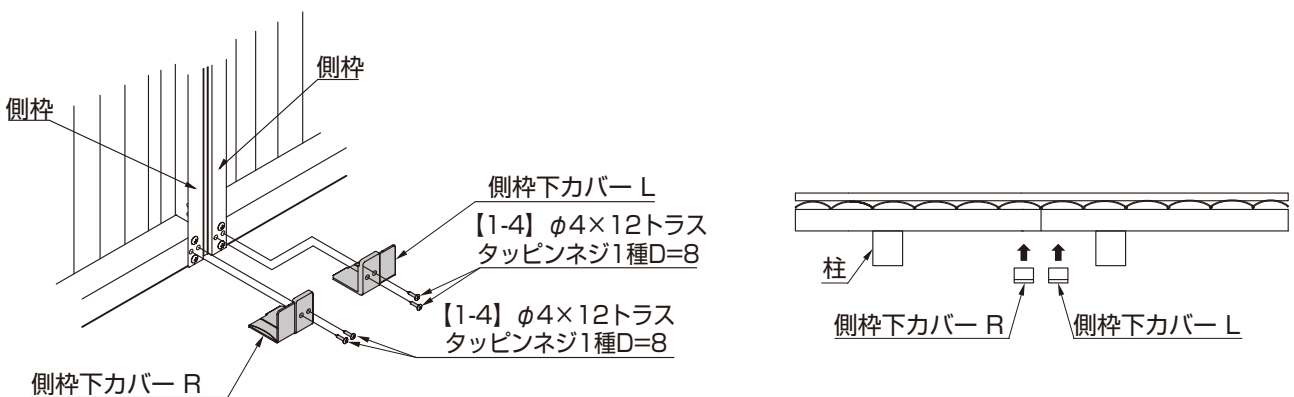


図5-4 フリーポールタイプの場合

②側枠下カバーを側枠に【1-4】で取付けてください。(図5-3、図5-4参照)

ポイント

●側枠下カバーのR・Lは、裏面にあるR、Lの文字で確認できます。(図5-2参照)

